	 引工業高	三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	 9学校	開講年度	平成31年度		*	受業科目 数値解		
科目基础		ודידינ	<u> </u>		1 13,51-	及 (2017年/文)			F1/17/A	
科目番号	WEIH+IX	0	144			科目区分		専門 / 必修		
授業形態 講義					単位の種別と	単位数	履修単位: 1			
			<u>332</u> 嵯械工学科	 식	対象学年	1 123/	5			
開設期前期								2		
				・						
担当教員			野正信	2711111777777	101-101-101-11-12					
到達目標	==	ļ ·								
(科目コ-	ード:1 <sup>-</sup>	L620 専の教育	英語名 : N 育目標の(	Numerical Analy C)と主体的に関れ	sis) つる。この科目の	D到達目標と、各到	達目標と	長岡高専の学習・教	育目標との関連を順で次に示	
①数値解析 値的に解析	く方法を	について 理解する	C知る。1 3。60%	l0%(c2)、②C言 (c1)(d1)。	語による実践的	なプログラミングを	習得する	5。30%(c1)、③工营	学における数学的諸問題を数	
ルーブリ	ノック						_			
						到達レベルの目安	最低限(	の到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			細に		る。	る。		折の意義について概 	左記に達していない。	
評価項目2			C言語 グラ る。	語による実践的なご ミングを詳細に修	/a - 1 = == / /	C言語による実践的なプロ グラミングを修得する。		よる実践的なプロ ングを概ね修得する	左記に達していない。	
評価項目3			を数化	こおける数学的諸 直的に解く方法を 解する。	詳細 を数値的	工学における数学的諸問題 を数値的に解く方法を理解 する。		おける数学的諸問題 内に説く方法を概ね る。	左記に達していない。	
学科の発	到達日村	■頂田.	_		1 - 0 -		,		1	
教育方法		小スロ		ZD.						
概要	Δ <del>.,</del>	1(5	ニ解いて∂	に学的問題の解や こより数値的に解 みる。 3科目:情報処理			ことが困難 である。そ	はな場合が非常に多い その基礎的な手法を学	N。その場合であってもコン なび、C言語プログラムで実際	
授業の進む	め方・方	法	プログラミ	ミングも行うが、	講義形式を基本	に進める。課題演習	はグルー	-プワークで行い、ク	ブループは毎回変更する。	
注意点			プログラミ	ミングの演習授業	ではない。1~	3年で習った情報処	理の基本	が必要であるが、C	言語プログラミングは	
		2	2,3年7	で習う内容で十分	であるので、受	講までによく復習し	ておくこ	٤.		
授業計画	–									
		週	į	授業内容				週ごとの到達目標		
前期		1週	l i	誤差、2次方程式			数値を	数値解析の誤差を理解し、2次方程式の解法を例に誤 差の回避方法の例を学ぶ。		
		2週	1 7	方程式(2分法、ニュートン法)			非線型	非線型方程式の解法である2分法とニュートン法の解 法を理解する。		
		3週		課題演習(方程式)			題を解	2分法とニュートン法のプログラムを作成し、演習問題を解く。		
	1stQ	4追	! j	連立1次方程式(ガウスの消去法) 				ガウスの消去法による連立方程式の解法を理解する。		
		5週	l j	連立1次方程式(ガウス・ジョルダン法と逆行列)			る。	ガウス・ジョルダン法による逆行列の求め方を理解する。 ガウス・ジョルダン法のプログラムを作成し、与えら		
		6週		課題演習(連立方程式)			れた	カラス・ショルタン法のクログラムを作成し、与えられた行列の逆行列を求める。 固有値・固有ベクトルの導出方法を理解し、数値解法		
		7週	<u> </u>	固有値問題				回行他・回行ペクトルの等山万法を埋除し、妖他群法 を学ぶ。		
		8週	7,772 2002 2002 1917 2 1917		験、試験解説			試験時間:50分		
		9逓		補間法				線形補間、ラグランジュ補間の原理を理解する。		
		10	<b>周</b>	曲線のあてはめ				スプライン補間、最小二乗法の原理を理解する。		
		113	周	数值積分			理解	台形公式、シンプソンの公式、ガウスの公式の原理を 理解する。		
	2ndQ	12)		課題演習(数値積分) 微分方程式				台形公式、シンプソンの公式、ガウスの公式のプログラムを作成し、演習問題を解く。 オイラー法とルンゲ・クッタ法の原理を理解する。		
								オイラー法とルンゲ・クッタ法のプログラムを作成し		
		14)	<b>道</b>	課題演習(微分方程式)			、演	、演習問題を解く。		
		15)	周 二	その他のプログラミング言語			最近位	最近の動向		
		16	期末試験(演習問題)				試験問			
				17週:試験解説と			T-VIOVE			
	<u> </u>	ノキュ		学習内容と到達						
<u>分類</u>			分野	学習内容	学習内容の到達	達目標			到達レベル  授業週	
評価割合	<u> </u>			1				· ·	r	
		試験(ロ	中間)	試験(期末)	レポート				合計	
総合評価割合 30		30		30	40	0	0	0	100	
基礎的能力 15		15		15	20	0	0	0	50	
専門的能力 15		15		15	20	0	0	0	50	
	的能力	0		0	0	lo	0	0	lo	